

授業と評価の年間計画

教科	理科	科目	化学	
履修条件 対象生徒	必修 普通科 理型 2年			
学習目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。			
学習方法	<p>【授業】 改訂版 化学（数研出版）とプリント等を用いて、授業を展開する。必要に応じて、実験レポートを書いたりして科学的な実力を養成する。</p> <p>【家庭】 授業で示した参考書やプリント等を活用して、復習に重点を置いた努力をすること。予習は、次回範囲を一読し、重要語句を把握しておくことが大切である。</p> <p>【補習・その他】 課題のプリントや授業中に指示した宿題の他、入試問題集等を計画的に学習することで、実力を積み上げていくことが望まれる。</p>			
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 中間検査まで 第1編 物質の状態 第1章 粒子の結合と結晶</p> <p>(2) 期末検査まで 第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物質の状態、原子の構造・電子配置・結合・周期性、物質量などを学習し、化学の基本事項を理解する。 温度・圧力・体積の変化により、物質の状態がどのように変化するかを学び、気体の状態方程式につないでいく。 溶液の性質について学ぶ。 		
	<p>2 2学期</p> <p>(1) 中間検査まで 第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー</p> <p>(2) 期末検査まで 第3章 化学反応速さとしくみ 第4章 化学平衡</p>	<ul style="list-style-type: none"> 化学反応や状態変化などと熱エネルギーの関係を考察し、量的に扱えるように理解する。 可逆反応の平衡移動が各種条件から成立すること学習し、それから平衡定数の持つ意味を理解する。 		
	<p>3 3学期</p> <p>(1) 学年末検査まで 第3編 無機化学 第1章 非金属元素</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を学ぶ。化学領域の基本法則やいろいろな化学反応について学ぶ。 		
評価規準	知識・理解	技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現することができる。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	定期検査、授業態度、課題・提出物・小テストなどを総合的に判断して評価する。			
その他	資料集を用いた学習、実験・観察等を通して探究的な学習を実施する。授業で学ぶ、基本事項についての理解が最も重要である。授業を大切にす姿勢を保ちながら十分な演習を行ってほしい。			